

分会情報

J R 東海労大阪仕業検査車両所分会

No. 2 0 2 0 1 0 . 1 0 . 2

発行責任者 柿本 克彦

編集責任者 教 宣 部

「チェックシート記入方法の変更」について申し入れ！！

会社は9月24日突如、「チェックシート記入方法の変更及び再徹底」として、仕業検査及び申告作業の信頼性向上のため10月1日以降実施すると一方的な内容の技術連絡を出してきました。

仕業や申告では、突然の「チェックシート記入方法の変更及び再徹底」とした記載内容について疑問をもった社員は管理者に問い質しました。何故、チェックシートに記入するボールペンの色が現行の黒色から赤色に変更されたのか！また確認者が作業者を兼ねる場合も、一人作業なのに確認者と作業者として一人が色分けをしてチェックシートに記入しなければならないのか！等々、質しても現場管理者はまったく説明できませんでした。さらにその他の管理者に質してみると返答がまちまちで、指導する管理者がまったく内容について把握していないことが判明しました。

所長は訓辞で「ヒューマンエラーゼロ活動」を目指すと言っています。今回の「チェックシート記入方法の変更及び再徹底」は本当にヒューマンエラーゼロ活動にそった対策なののでしょうか？そうであるならば、何故、現場管理者の認識がまちまちなののでしょうか？

内容においても申告作業では、今でも複雑でチェック項目の記入箇所も多く大変なのに、新たな臨時修繕チェックシートの様式では、文字だけでなく可能なかぎり実体図（イラスト）を書かなくてはならないようになっています。

このように記入箇所を増やすことで、本当にヒューマンエラーがゼロになるのでしょうか？社員の多くは疑問をもっています。

チェックシート表は、むしろ解りやすく作業上において支障のないものであるべきです。会社はチェック項目を増やしさらに複雑にして社員の労働強化を求め、一方では、事故が発生すればすべて社員に責任転嫁してきています。

私たちは、今回の技術連絡「チェックシート記入方法の変更及び再徹底」は、信頼性の向上に逆行した変更と考え申し入れを行いました。

（申し入れ内容は裏面へ）

2010年 10月 1日

J R 東海 労新幹線関西地本
執行委員長 小林 國博 殿

J R 東海 労新幹線関西地本
大阪仕業検査車両所分会
執行委員長 柿本 克彦

チェックシート記入方法の変更及び再徹底について

大阪仕業検査車両所では「チェックシート記入方法の変更及び再徹底について」の技術連絡が平成22年9月24日付で出されました。内容は、仕業検査及び申告作業の信頼性向上のため平成22年10月1日以降実施となっていますが、時間に追われ作業を行っている現場社員は、実作業よりチェックシート記入、アリス入力に時間をとられているのが現状です。今回の記入変更は、信頼性の向上に逆行した変更と考えます。

下記について申し入れます。よろしく申し上げます。

記

1. チェックシート記入方法を変更する理由を明らかにすること。
2. チェックシート記入方法の変更は大阪仕業検査車両所だけなのか明らかにすること。
3. 社員にチェックシート記入の変更についての説明会を行うこと。
4. 記入漏れがあった場合、対面物での確認がないまま追記／訂正を行ってはならないとあるが、すでに車両が出庫している場合はどうするのか明らかにすること。
5. 記入漏れがあった場合、個人の査定の対象にしないこと。
6. 現在、黒ペンで記入しているのを確認者（赤）、作業員（青）、見習者（緑）と指定する理由を明らかにすること。
7. 現在、一人作業の場合は確認者のみのチェックを記入しているが、変更後作業員、確認者のチェックを記入としているのはなぜか明らかにすること。
8. アリス導入はペーパーレスが目的だったはずである。今後、アリス入力のみとすること。